

【提案】 子どもたちと行う地域活動

学校の中などの限られた場や体験の機会だけでなく、子ども達が地域の中で様々な人たちと関わり合いながら活動することで、地域課題に気づき、考え、皆で協力しあって行動する。そのような機会が広がり、定着していくことができればと願っています。地域と学校が一体となり実践の中で福祉の心を育むことができればと思います。

簡単ではないかもしれませんが、以下のようなことが地域で実現し、定着していくことで、だれもが安心して生活していくことができるのではないのでしょうか！？

1 地域の子ども達によるゴミ出し支援

自分でゴミ出しが難しいお年寄りや障害のあるご家庭のごみ出しを、地域の子どもたちが支援する。子ども達ができない時は、親や家族が代わりに支援し、子どもの活動をバックアップしていく。➡ お年寄りの生活を垣間見ることで、地域の課題の気づきに繋がり、親子で地域との関わりの機会が持てる。

2 ひとり暮らし等のお年寄り家庭へのお手紙配布や声掛け訪問!

地域の子ども達が定期的にお手紙を書いてお年寄りなどに届けたり、声掛けをする。

➡ 身近な存在となり、お互いの安否や安全確認にも繋がる。

3 自分の地域をみんなできれいにしよう①

地域に住む人たち(子ども、大人、高齢者、障害者)が集まり、ゴミ拾い等を定期的に行う。

➡ 自分の地域を自分たちできれいにし、ごみのポイ捨て等の生活マナーを考える機会となる。

4 自分の地域をみんなできれいにしよう②

地域の花壇やプランター等をお年寄りと子ども達で継続的に手入れする。➡ 地域が彩られることで、より愛着を持つことができる。一緒に作業を進めることで世代間の交流の機会となる。

【効果として考えられること】

- ・世代を超えた交流の機会となる
- ・お互いの存在を知り、ご近所同士の助け合い精神を育むきっかけとなる
- ・直接的な支援を子どもが担うことにより、親の関わりや関心にも繋げていくことができる
- ・普段から繋がりを持っておくことで、災害時や緊急時に助け合うことができる

【社会福祉協議会で調整できること】

- ・取り組み内容のルール の提案
- ・子どもたちが楽しく活動に取り組めるような工夫の提案
- ・地域の見守りの必要な方と協力してくれる子ども達のマッチング